

一般社団法人 大学コンソーシアム熊本 第37回理事会 議事録

1. 開催日時 令和5年3月24日(金) 15時30分～17時00分
2. 開催方法 オンライン (Zoom)
3. 出席者

| | | |
|-----------|-------|--------------|
| 代表理事(会長) | 小川 久雄 | 熊本大学長 |
| 代表理事(副会長) | 中山 峰男 | 崇城大学長 |
| 代表理事(副会長) | 竹屋 元裕 | 熊本保健科学大学長 |
| 理事 | 細江 守紀 | 熊本学園大学長 |
| 理事 | 堤 裕昭 | 熊本県立大学長 |
| 理事 | 甲斐 広文 | 熊本大学副学長 |
| 監事 | 尾原 祐三 | 熊本県立技術短期大学校長 |
4. 欠席者 監事 山縣 ゆり子 尚綱大学・尚綱大学短期大学部学長
5. 開 会

(1) 開会

事務局長から、本日の理事会には、現在の理事6名及び監事1名の出席により、定款第32条に定める定足数(理事現在数の過半数)を満たし、理事会が成立したことを宣言した。

(2) 会長(議長)挨拶

会長(議長:小川学長)からの挨拶のあと、本日の理事会は、第1号議案「規則改正」について、第2号議案「中期計画進捗状況・評価」について、第3号議案「令和4年度予算執行状況」について、第4号議案「令和5年度事業計画及び収支予算(案)」について、第5号議案「令和5年度の運営体制」について、が主な議題であることが宣言された。

(3) 議事録の確認及び議事録署名人の指定

議長から、資料1の「一般社団法人大学コンソーシアム熊本第36回理事会議事要録」に議事録署名人の署名捺印を頂いたことの確認及び報告のあと、本日の議事録署名人は、定款第33条及び理事会運営規則第12条の定めにより、小川代表理事(会長)、尾原監事が行うことの説明があった。

6. 理事会議事

第1号議案 規則改正について

事務局長から、資料2-1「一般社団法人大学コンソーシアム熊本組織規則の一部改正(案)新旧対照表」、資料2-2「一般社団法人大学コンソーシアム熊本役員等職務権限規則の一部改正(案)新旧対照表」、資料2-3「一般社団法人大学コンソーシアム熊本企画・運営委員会規則の一部改正(案)新旧対照表」、資料2-4「一般社団法人大学コンソーシアム熊本専門部会規則の一部改正(案)新旧対照表」についての説明があった。

今回の規則改正については、教員免許状更新講習・教員等養成等事業部会の廃止に伴うものが主な理由である旨の説明があり、引き続き、審議の結果、「一般社団法人大学コンソーシアム熊本組織規則の一部改正（案）新旧対照表」、「一般社団法人大学コンソーシアム熊本役員等職務権限規則の一部改正（案）新旧対照表」、「一般社団法人大学コンソーシアム熊本企画・運営委員会規則の一部改正（案）新旧対照表」、「一般社団法人大学コンソーシアム熊本専門部会規則の一部改正（案）新旧対照表」については、承認された。

第2号議案 「中期計画進捗状況・評価」について

事務局長から、資料3-1「中期計画における進捗状況における評価」、資料3-2「中期計画の進捗状況、評価（案）」について、説明があった。

資料3-1について、コンソでは2019年に2019年～2023年の5年間にわたる中期計画を策定し、毎年度評価を行うものとしている。各取り組みレベルでは、それぞれの取組みを所管する事業部会、目的・目標レベルでは企画・運営委員会が評価を行うこととし、理事会・社員総会に対し評価（案）として報告する。理事会では、これらの評価を受け、事業の達成状況や効果の検証、中期計画全体の検証を行うものとしており、全体の評価をお願いするものである。

資料3-2について、目的1の「進学セミナー」については、学生教育部会でB評価、企画・運営委員会でもB評価で承認されている。

目的2の「産学官の連携」については、活動目標3つ（取組①産学官連携、取組②キャンパスパレア、取組③教育のあり方に関する協議）のうち、①②についてはB評価、③についてはA評価、トータルではB評価と企画・運営委員会では承認された。教育機関の連携事業5件以上という達成目標は、来年度中期計画の終了後の達成評価とし、今回の評価からは除くため、B評価とする。新たに行った事業は年度評価としてS評価としたとした。企画・運営委員会が担当する個々の事業は、講演会と単位互換であり、S評価とし、取組①②③の評価としてB評価とした。

目的3の「国際交流の活発化」については、取組①ワンストップ窓口業務、取組②SNS等を活用した留学生ネットワークの構築、取組③留学生のための“学モン都市クマモト”ツアー、取組④多言語による情報発信、取組⑤環境整備活動、取組⑥地域行事・イベントへの参加事業のうち、A評価が3つ、B評価が1つのため、トータルではB評価とした。

目的4の「地域における高等教育の環境を向上させるための包括的な取組み」については、取組①FD・SD、取組②障がい学生支援連携事業、取組③男女共同参画推進連携事業、取組④教員免許更新講習、取組⑤学生交流推進事業のうち、取組④教員免許更新講習は法改正により評価しないと、取組①②③⑤の評価がA評価であり、トータルではA評価とした。

なお、全体の評価は、15に取組に対し、それぞれ令和4年度の活動目標に照らして実績を評価した結果、S評価0、A評価8、B評価6、C評価0、評価せずが1であった。それぞれの目的と照らし総合的に判断した結果、総合評価はB評価とし、理事会承認後は5月の社員総会に諮るものとする。

審議の結果、資料3-1「中期計画における進捗状況における評価」、資料3-2「中期計画の進捗状況、評価（案）」については、承認された。

第3号議案 「令和4年度予算執行状況」について

事務局長から、資料4-1「収支計算書（令和4年度収支状況報告）」、資料4-2「令和4年度事業計画書及び予算執行状況（各事業毎の内訳）」について、説明があった。

事業活動収入について、年度当初の収入予算額は15,855,000円に対して、15,887,994円となり、32,994円の増となっている。

事業活動支出について、年度当初の支出予算額は14,171,000円に対し、12,617,126円となり、1,553,874円の執行残が出る見込みである。

収入計の15,887,994円に対し、支出予定額12,617,126円であることから、事業活動収支差額は3,270,868円となり、単年度としては黒字である。

事務局運営費（管理費）について

4,370,000円に対し、3,719,833円となり、650,000円程度残が出る予定である。主な要因は、旅費交通費の予算が見込みより200,000円程度少なく済んだこと、また、広報費のHP改修予定が今年度できなかったことが挙げられる。

事業費の支出について、

○企画・運営委員会

講演者に対する諸謝金を受取辞退により、支払われなかったことで、650,000円程度の執行残となる予定である。

○学生教育部会

進学ガイダンスセミナーの委託費（参加者受付システムの開発）が崇城大のシステムを利用したことで費用がかからなかったことが挙げられ、総額では170,000円程度の執行残となる予定である。

学生推進交流事業では、旅費交通費について、今月28日に学生の阿蘇地震遺構ツアーを予定して、170,000円程度の費用がかかる予定である。70,000円程度の執行残となる予定である。

インターンシップ連携事業では、成果報告会を今年度はオンラインで実施したため、会場の借上げ費が不要になったことと企業紹介サイトが更新を伴う改修で済んだことで、230,000円程度の執行残となる予定である。

FD・SDでは、講演者に対する1名の諸謝金を受取辞退により、支払われなかったことで、23,000円程度の執行残となる予定である。

国際交流部会では、県と市から各2,500,000円とコンソ予算2,500,000円の合計7,500,000円での事業となっている。150,000円程度の執行残となる予定である。

留学生のための“学もん都市クマモト”ツアーでは、45,000円程度の執行残となる予定である。

多言語による情報発信では、リーフレット新たな作成により、100,000円程度の予算超過となる予定である。

○地域創造部会

環境整備活動では、人数を制限して実施したため、60,000円程度の執行残がとなる予定である。

男女共同参画推進事業では、オンラインでの開催となったため、100,000円程度

の執行残が出る予定である。

障がい学生支援連携事業では、48,000 円程度の執行残となる予定である。

熊本を深く知るための企画事業では、オンライン開催のため講演者に対する諸謝金が1名となり、88,000 程度の執行残となる予定である。

地域課題解決のための企画事業では、報告書作成費用が見込みより若干高くなったため、12,000 円程度予算超過となる予定である。

【委員からの質問】

○多言語による情報発信

- ・印刷製本費について、予算額の倍以上費用がかかっているのはなぜか？

【事務局からの回答】

○多言語による情報発信

- ・全体的に作り変えたことにより、デザイン料がかかったことが挙げられる。

【委員からの意見】

○留学生支援事業

- ・県と市から各 2,500,000 円とコンソ予算 2,500,000 円の合計 7,500,000 円での事業について、理事会での確認が必要でないか？

【事務局からの回答】

○留学生支援事業

- ・来年度の理事会で遡って承認をいただくこととする。

審議の結果、資料4-1「収支計算書（令和4年度収支状況報告）」、資料4-2「令和4年度事業計画書及び予算執行状況（各事業毎の内訳）」については、承認された。

第4号議案 「令和5年度事業計画及び収支予算（案）」について

事務局長から、資料5-1「令和5年度事業計画書及び予算要求書（コンソ全体合計）」、「令和5年度事業計画書及び予算要求書（各事業毎の内訳）」、資料5-2「収支予算書【収支】（案）」、「収支予算書【正味】（案）」、「令和5年度大学コンソーシアム熊本予算（案）」、「令和5年度会費収入一覧（案）」について、説明があった。

資料5-1「令和5年度事業計画書及び予算要求書（案）（コンソ全体合計）」
「令和5年度事業計画及び予算（案）（詳細）」

○管理費について、

- ・給与手当の人件費は、1名のコンソ雇と派遣の費用である。
- ・旅費交通費は、全国コンソと研究フォーラムの費用である。
- ・広報費は、役員交代に伴う、リーフレット作成とHPの改修費用により、増額となっている。
- ・リース料は、コピー機とパソコンがリース満了のための入れ替え費用であり、半導体等不足の影響も重なり増額となっている。
- ・管理費全体としては、8,272,000 円となり、3,821,000 円の増額となっている。

○企画・運営委員会

- ・予算額は、本年度同様である。

○学生教育部会

- ・来年度の進学ガイダンスセミナーについて、予算額は、今年度同様であり、東海大学での実施を予定している。
- ・学生交流推進事業は、予算額は、今年度同様であり、全ての事業において対面での実施を予定している。
- ・インターンシップ連携事業は、今年度のHPの構築が安価であったため、100,000円の減額となっている。
- ・FD・SD事業は、今年度同様である。

○国際交流部会

- ・消耗品費は200,000円減額して、実態に合わせ委託費に付け替えている。
- ・情報発信事業について、リーフレット作成が無くなったので、留学生支援事業に予算を振り替えている。
- ・留学生支援事業は、県と市から、各2,500,000円とコンソ予算の予算2,500,000円を併せて、7,500,000円の事業となっている。
- ・留学生のための“学モン都市クマモト”ツアーについて、大学受験対象者が増えるのは再来年度以降であることから、今年度と同額とする。
- ・多言語による情報発信では、大学院レベルの学問分野マップの作製を計画していることから、改修経費を計上している。

○地域創造部会

- ・環境整備活動、男女共同参画推進事業、障がい学生支援事業、熊本を深く知るための事業は、今年度と同額の予算を計上している。
- ・地域課題解決のための企画事業は、委託費について有償学生ボランティア費用として40,000円を計上しており、今年度より60,000円の増額の470,000円を計上している。
- ・総額では、860,000円となっている。

○事業活動支出

- ・事業支出は、9,702,000円となり、今年度予算から18,000円の減となっている。

○事業活動収入

- ・会費収入は、収容定員減による減となるが、放送大学の加盟により、176,000円の増額となっている。
- ・雑収入は、私立大学等改革総合支援事業の採択（熊本学園大学）に伴う負担金となっている。

○繰越額

- ・令和4年度の繰越額は、14,000,000円が見込まれる。
- ・合計は、収入15,031,000円と繰越額で31,031,000円となる予定である。

○予備費

- ・13,036,800円となる予定である。

【委員からの質問】

- ・オンライン開催でのメリットとデメリットはどう考えているのか？

【事務局からの回答】

- ・オンライン開催でのメリットとデメリットはあったと考えている。
- ・来年度の事業については、各部会で開催方法を検討していくが、オンラインで開催となる見込みである。
- ・学生の方は、対面でやりたい希望があり、学生に希望を聞きながら、事業計画を部会長と立てていく。

審議の結果、資料5-1「令和5年度事業計画書及び予算要求書（コンソ全体合計）」、「令和5年度事業計画書及び予算要求書（各事業毎の内訳）」、資料5-2「収支予算書【収支】（案）」、「収支予算書【正味】（案）」、「令和5年度大学コンソーシアム熊本予算（案）」、「令和5年度会費収入一覧（案）」については、承認された。

第5号議案 「令和5年度の運営体制」について

事務局長から、資料6-1「令和5年度大学コンソーシアム熊本役員名簿（案）」、資料6-2「令和5年度大学コンソーシアム熊本事務局体制（案）」についての説明があり、審議の結果、承認された。なお、役員の承認後は、最終的に、5月に開催される社員総会において、役員が決定し、同日開催の理事会において役職が確定する運びとなります。

理事（事業執行） 熊本学園大学 副学長 金 栄緑

第6号議案 その他

なし

7. 理事会報告

第1号報告 「令和4年度各部会の実施事業」について

事務局長から、資料7に基づき、「令和4年度事業報告書（案）」について、説明があった。

- ・来年度早々（5月）の発行を予定している。
- 理事会
 - ・11/10に講演会実施
- 企画・運営委員会
 - ・教育のあり方に関する協議会を3回実施
 - ・単位互換検討WGの実施
 - ・事務局体制WGの実施
 - ・共同IR検討WGの実施
- 学生教育部会
 - ・7/10に進学ガイダンスセミナーの実施
 - ・身だしなみ講座
 - ・くまもとU25文化祭
 - ・南阿蘇バスツアー（3/28）
 - ・対面（9割以上）によるインターンシップ事業の実施
 - ※インターンシップと呼べるのは5日以上

○国際交流部会

- ・HPの改修
- ・留学生に為の面接対策講座の実施
- ・スタディツアー（阿蘇・山鹿）の実施
- ・留学生ショートムービーコンテストの開催
- ・他機関への協力
人吉、球磨の文化と蔵めぐり
水俣から環境を考えるスタディツアー＝熊本県主催

○地域創造部会

- ・環境整備活動（熊本城二の丸広場）の実施
- ・第2回政策アイデアコンテストの実施

第2号報告 「令和4年度共催及び名義使用の許可状況」について

事務局長から、資料8に基づき、「令和4年度共催及び名義使用の許可状況」について、説明があった。

第3号報告 「私立大学等改革総合支援事業の採択結果」について

熊本学園大学 西村委員（事務局長）から、「令和4年度私立大学等改革総合支援事業の採択結果」の説明があった。

- ・タイプ3のプラットフォーム型につきましては、令和4年度においても社員総会の決議に基づき、大学コンソーシアム熊本の事業を対象として、各大学において申請を行った。
- ・文部科学省及び日本私立学校振興共催事業団から、各大学に採択結果が届いている。
- ・熊本学園大学の1校が採択となっている。
- ・この選定にあたっては、改革総合支援事業委員会から、本事業はプラットフォームとしての取組に着目して、支援を行っている。従って、貴大学のみではなくプラットフォーム全体として成果が出るように取組んでいただきたい。今回、プラットフォームは1校のみの選定にとどまっており、複数の大学が選定されるようにプラットフォーム全体として、取組を進めて欲しい旨の意見が付されている。

第4号報告 その他

なし

以上で議事を終了し、議長は閉会を宣言した。

この議事録が正確であることを証するため、代表理事（会長）及び出席監事は、署名捺印する。

令和 5 年 3 月 2 4 日

一般社団法人 大学コンソーシアム熊本 第 3 7 回理事会

代表理事（会長） 小 川 久 雄

監 事 尾 原 祐 三